

熊川哲也 Kバレエカンパニー が2022年秋に贈るグランド・バレエ
「クレオパトラ」新ビジュアル&スポット解禁！
熊川哲也 出演決定！

名だたる古典バレエを自身のプロダクションとして生まれ変わらせてきた熊川哲也が、2017年、原作も音楽も存在しない全幕作品に挑み、熊川哲也の最高傑作と名高い「クレオパトラ」。

この度、またとない最高のキャスティングで4年ぶりに上演致します。

このほど、タイトルロールの一人である日高世菜の公演ビジュアルとスポットが解禁となりました。

<https://www.k-ballet.co.jp/contents/2022cleopatra>

また3年半ぶりの全幕出演であり、ジュリアス・シーザー役で本作に初登場となる熊川哲也からのメッセージと合わせて、是非多くの方に告知いただきたくお願い申し上げます。



絶世の美女の代名詞でありながら
いまだ多くの謎に包まれているクレオ
パトラを、熊川が壮大な史実を紐解
きオリジナルのストーリーを構築、全2
幕にわたるグランド・バレエに仕立ま
した。

作品の成功を大きく左右する音楽
にはカール・ニールセンの楽曲を使
用、舞台美術デザインにはメトロポリ
タン歌劇場やミラノ・スカラ座など世
界の一流オペラ劇場の舞台を手が
けるダニエル・オストリング、現代的
感性が光る前田文子の衣裳、そして、
クラシック・バレエの既成概念を大胆
な創意で押し広げた熊川の振付。

これらすべてが**完璧なる融合を果
たした、振付家・熊川哲也の最高傑
作がこの「クレオパトラ」なのです。**

熊川哲也、出演決定！

今回の公演では、ジュリアス・シーザー役で
熊川哲也の出演が決定し大きな話題に。ギリ
シャ・ローマの歴史を決定的に変えた政治
家であり軍人という役所のシーザーは、クレ
オパトラの激動の人生におけるキーパーソン。
圧巻の存在感を必要とされる役だけに、期
待は尽きません。

<ジュリアス・シーザー役にて初登場！

芸術監督／熊川哲也コメント>



©Toru Hiraiwa

「クレオパトラ」は、原作も音楽も存在しないところから産み出した、まさに“創作の真骨頂”ともいえる作品であり、私自身にとっても非常に特別なものです。ニールセンの音楽に出会い、演出が降ってきた瞬間から、極めて完璧に近い領域に到達したと感じ得た初日の舞台まで、この作品が誕生するまでの一刻一刻は、非常に満ち足りた時間でした。

3度目の上演となる今回は、初演の奇跡を蘇らせてくれるであろう浅川紫織に加え、第二世代ともいえるキャストが揃います。容姿はもとより、バレエの形式美を超えて、各々のありのままの姿が顕になるこのタイトルロールを、彼女たちがいかに創り上げるか、ご期待ください。

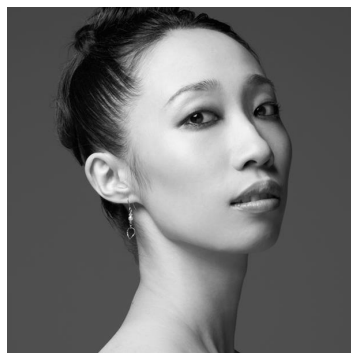
初演の2017年から5年の時が過ぎ、その間に私も節目を迎える歳となりました。「五十にして天命を知る」といわれますが、有限たる時において自らがすべきこととは何かー。

自身の若い頃を振り返ると、ヌレエフと同じバーを握って稽古した日や、当時のスターと一緒に舞台上に立った経験は、かけがえのない光景として脳裏に刻まれています。それを思うと、伸び盛りの若手と自分が舞台上で同じ空気を吸うことは、私が思う以上に彼らにとって意味あることであり、バレエに生かされた者として今なすべきことのひとつが“継承”であるという思いから、今回の出演を決断いたしました。この機会を後進のため、存分に生かしたいと思えます。

熊川哲也 Tetsuya Kumakawa ~芸術監督 Artistic Director of K-BALLET COMPANY~

北海道生まれ。1987年、英国ロイヤル・バレエ学校に留学。89年、ローザンヌ国際バレエコンクールで日本人初の金賞受賞。同年、英国ロイヤル・バレエ団に東洋人として初めて入団。91年、史上最年少でソリスト、93年にプリンシパル昇格。99年、K-BALLET COMPANY設立。芸術監督として団を率いるほか、演出・振付家としても才能を発揮し、「白鳥の湖」「くるみ割り人形」など全幕古典作品の演出・再振付や、完全オリジナル全幕作品「クレオパトラ」「蝶々夫人」などの新作を数多く上演。2012年1月、Bunkamura オーチャードホール芸術監督に就任。2013年、紫綬褒章受章。

クレオパトラ役 ~Kバレエのプリンシパルたち~



Kバレエ初のプリンシパル入団を果たし
熊川に「完璧バレリーナの象徴」と言わしめる

日高世菜 Sena Hidaka

兵庫県生まれ。2008年同年ロシア国立ワガノフ・バレエ・アカデミーに留学。11年ルーマニア国立バレエ団に入団、14年プリンシパルに昇格。16年アメリカのタルサバレエに移籍、19年プリンシパルに昇格。数々の作品で主演を踊る。21年1月、Kバレエカンパニー初のプリンシパル入団を果たす。



容姿に反し、強靱な身体的能力が生む
野性的な魅力を持つ

飯島望未 Nozomi Iijima

大阪府生まれ。2008年ヒューストン・バレエに当時最年少の16歳で入団。19年3月、同団のプリンシパルに昇格。21年に帰国し5月にKバレエカンパニー『ドン・キホーテ』にゲストで主演。同年8月プリンシパル・ソリストとして入団。22年3月プリンシパルに昇格。19年、シャネルビューティアンバサダーに就任。



初演当時のキャストとして
この役の真髄を知り尽くす

浅川紫織 Shiori Asakawa

長野県生まれ。2001年イングリッシュ・ナショナル・バレエスクールに留学。03年4月、Kバレエカンパニーに入団。2008年12月プリンシパル・ソリスト、14年1月プリンシパルに昇格。18年股関節の深刻な怪我により引退するが、手術が成功し本年6月「カルメン」で4年振りの全幕復帰を予定。

～STORY～

2022.6.1

株式会社TBSテレビ
株式会社K-BALLET

紀元前1世紀のエジプト。クレオパトラは父王亡き後、弟のプトレマイオス13世と結婚、共同で王位に就いていた。実権を握っているのはクレオパトラだが、プトレマイオスを擁立する官僚たちにより王朝は二派に分裂、熾烈な権力争いが起こっている。

そんな折、ローマではジュリアス・シーザーとポンペイウスの間で内戦が起こり、シーザーが勝利する。第一派により王座を奪われたクレオパトラは、ローマきっての実力者たるシーザーを味方につけようと画策。その美しさは瞬く間にシーザーの心を奪い、二人は恋に落ちる。一方、シーザーの暗殺を企てたプトレマイオス一派は亡き者にされる。再び王位を手中に収めたクレオパトラは、今や名実共にローマの最高権力者となったシーザーとの間に子をもうけ、まさに幸福の絶頂にある。だが、その幸せは長くは続かなかった。腹心ブルータスらによってシーザーが暗殺されたのだ。

遺言により後継者に指名されていたオクタヴィアヌスは、シーザー直属の部下であったアントニウスの存在を警戒し、同盟を強固にするため、妹オクタヴィアと結婚させる。だが、クレオパトラに想いを寄せていたアントニウスは彼女を忘れられずエジプトへと向かう。クレオパトラはアントニウスの愛を受け入れ、ひととき平穏な日々が訪れる。だが、オクタヴィアヌス率いるローマの軍勢がエジプトへと攻め入り……

そして、激動の人生を生き抜いたクレオパトラに、最期の時が訪れる――。



©Hidemi Seto

熊川哲也 Kバレエカンパニー Autumn Tour 2022 『クレオパトラ』 公演概要

【日時】2022年10月26日(水)～30日(日)

【会場】Bunkamuraオーチャードホール

【チケット料金(税込)】※6/18(土)10:00～ 一般発売開始！！

★10/26(水)18:00、10/28(金)14:00、10/29(土)17:30

S席 ¥17,500 / A席 ¥13,000 / B席 ¥10,000 / C席 ¥8,000 A親子席 ¥17,500 学生券 ¥5,500

☆10/27(木)14:00、10/29(土)13:00、10/30(日)13:00

S席 ¥15,000 / A席 ¥11,000 / B席 ¥8,000 / C席 ¥6,000 A親子席 ¥15,000 学生券 ¥3,500

※A親子席 大人1名+子供1名(5歳以上小学6年生以下) (A席エリア)

※学生券 中学生以上25歳以下 / 当日学生証を提示の上引き換え / 席位置未定

※A親子席・学生券は、TBSチケット、チケットぴあWEBにて取り扱い

【チケット販売】TBSチケット、チケットスペース、他

【お問合せ】チケットスペース：03-3234-9999 <https://www.ints.co.jp/>

公式HP <https://www.k-ballet.co.jp/contents/2022cleopatra>

主催：TBS 協賛：大和ハウス工業株式会社、株式会社SL Creations

オフィシャルエアライン：ANA 協力：Bunkamura 制作：K-BALLET/TBS

公式ウェブサイト：<https://www.k-ballet.co.jp/>

ツイッター：@kballetofficial

インスタグラム：@k_ballet_company_official

フェイスブック：<https://www.facebook.com/kballet.company/>

本件にお問い合わせ：インタースペース 担当：高橋美加

TEL：03-3263-4399 / 090-1696-8135 MAIL：t-mika@ints.co.jp